



## 心を込めた演奏で 筑西市に輝きを



なかじま ひでお  
中島 英雄 さん (岡芹)

より活動を充実させるため、全パート団員募集中。音楽を一緒に楽しみましょう。

みなさん、音楽は好きですか。音楽は昔から歌ったり、演奏したり、みんなに愛されてきました。コロナ禍で世の中が暗い気持ちになっていくときも、音楽は気持ちを盛り上げ、癒やしてくれました。

吹奏楽団と聞くと敷居が高いイメージがありますが、「しもだて吹奏楽団（田嶋義則団長）」はそのイメージを覆す、ポップスから演歌まで幅広く、バラエティにとんだ演奏をする楽団です。コロナ禍が落ち着き、活動を再開したしもだて吹奏楽団の首藤正行運営音楽委員長に、吹奏楽の魅力など、お話を伺いました。

### しもだて吹奏楽団の始まり

初めは、下館第一高等学校吹奏楽



運営音楽委員長の首藤さん

部OBが集まり、音楽を演奏していました。活動して2、3年が経ったころ、周りの人からも参加したいとの声があり、誰でも参加できるようにだて吹奏楽団が昭和57年に創立されました。

### 一人ひとり全員が主役

「吹奏楽はみんなで演奏の技術を高め、一つの曲を作り上げます。誰か一人が欠けても音楽は完成しませんが、私たちのモットーは、聴衆と一体となり得られる、吹奏楽の喜びや感動を追求することです。演奏が成功すると演奏者全員に拍手が送られます。拍手が鳴り止まない時、正に一体感を実感します」と首藤さんは吹奏楽の魅力を語ってくれました。

### コロナ禍の影響

団員は総勢28人で、保育園や小学校、福祉施設などへの訪問コンサート、また公共施設での自主コンサートなど1年間に十数回の公演を開催し、音楽の魅力を伝えています。しかし、新型コロナウイルスの感



12月のコンサートに向けて練習する楽団員

染が拡大し、令和元年12月のコンサートを最後にやむなく活動を休止していました。「モチベーションを保つことが難しかったです。打ち合わせをLINEで行ったり、演奏している動画をインターネットにアップしてみたり、できることから少しずつチャレンジしてきました」と首藤さんは苦労を振り返ります。

### 今後の活動

現在は、12月26日に行う無観客の自主コンサートのに向けて練習しています。「約2年間のブランクがあるので、思った音を出すのが難しいですが、団員の心を一つにがんばります」と首藤さん。演奏の様子は、ホームページからご覧になれます。

### 取材を終えて

コロナ禍で疲弊した世の中に必要なのは、吹奏楽のようにみんなの力を合わせることで

を合わせることだと思えます。音楽の力で地域を盛り上げ、音楽を好きな気持ち、そして

しもだて吹奏楽団の思いや誇り、夢や希望を後世に伝えていってほしいです。



Shimodate Wind Orchestra  
しもだて吹奏楽団

問 しもだて吹奏楽団  
ホームページ

